



配電設備のメンテナンスを行うBPCの職員。日本製の安全帯を着用

も配電線が届かない世帯には、太陽光パネルを設置して電気を届けたいです」。

そう苦労を話すのは、JICA 専門家の大類久里さん。これまで

配電網の整備自体は着々と進んでいるが、それを維持管理する人々がいなければ宝の持ち腐れ。そこで大類さんら7人の日本人専門家が取り組んでいるのが、ブータン電力公社（BPC）の職員の能力向上だ。

「課題を解決する力を養うため、BPCが取り組むべき6つの優先課題を彼ら自身で決め、原因を分

課題を見つけ 乗り越える力をはぐくむ

フィリピンやインドネシアでも、地方への電力供給を促す「地方電化」を支援してきた。「10年以上、地方電化にかかわってきた原点は、初めて明かりがついた時に見た人々のうれしそうな笑顔。日本では当たり前になった電気のありがたみを再確認し、その笑顔をもっと見られるためにできることをしたいと思っただけです」。

大類さんは電気が届いたブータンの地方の村々でも、たくさんの方々の笑顔に出会ってきた。夜には明るい光の下で大人を対象に識字教室が開かれるように。昼間は農作業で忙しい彼らは、学ぶ喜びをかみしめている。また、「家で充電できるようになったので携帯電話を買った。町に出稼ぎに行った子どもと連絡が取れてうれしい」という声も。人々の生活に、明るさをもたらされている。

BPC配電部長のノルブ・チェリンさんは、「あくまで私たち自身の力で対策を考えなくてはなりません。職員が一人となり、中に設置した配電線のトラブル対応や小規模水力発電所の保守管理などにも取り組んでいます」と頼もしい。地方で暮らす人々に電気を届け、笑顔を増やしたい。大類さんと思いを共有した彼らは、着実に前に進んでいる。

析し、具体的な対策を立てています。食べ物が増えて困っている人に食べ物を与えるより、作り方を教えた方がよい」といった意味のブータンのことわざ通り、私たちは答えではなく、解決方法の導き方を常にアドバイスしています」と大類さんは話す。

例えば、地方での電気料金の請求・徴収方法の改善。配電線を山奥の遠隔地まで延ばしたはいが、各世帯の電力使用量を調べるには時間も費用もかかる。電気料金を支払うにも、何キロも離れた町まで行かなければならない。

そこでBPCが検討している対策の一つが携帯電話の活用だ。BPCのコールセンターに顧客番号などをテキストメッセージで送ると、顧客情報を管理するデータベースにつながり、その世帯の電気料金が分かるという仕組み。試行錯誤しながらシステム構築を進めているところだ。



[右]山の中を通る配電線。急しゅんな地形のため、設置も維持管理も難しい
[左]BPC配電部長のチェリンさん(左)らとプロジェクトの進捗を確認する大類さん(右奥)。ブータンの省庁では民族衣装の着用が義務付けられている



太陽光パネルを屋根に取り付け、初めて電気を使えるようになった家庭。思わず笑みがこぼれた



ティンブー

広がる 都市と地方の格差

「明かりがたった！」

初めて電気が使えるようになった記念すべき日。村の人々に笑顔が広がる。

辺り一面、どこを見ても山、山、

山。ヒマラヤ山脈に囲まれたブータンならではの風景だ。ここマルハゼ村は、首都ティンブーから車で6時間、さらに山道を歩いて4時間もかかる。

こうしたブータンの地方では、都市に比べて、各家庭に電力を届けるインフラの整備が遅れている。人々はろうそくや灯油ランプを使っているが、それでは十分ではない。もちろん、電化製品など使えない。洗濯は手洗い、食材は乾燥させて保存食にするしかない。コメはまきを使って炊くが、火がおきるまで時間がかかり、室内はすすで真っ黒になってしまう。健康にも良くない。

そこでブータン政府が目指しているのが、すべての人に電気を引きわたらせること。世帯電化率100%という目標だ。2007年から日本やアジア開発銀行などの支援を受けて地方の配電網の整備を進め、05年に6割だった全国の世帯電化率は2012年には8割に達した。

しかし、3000メートル級の山々が連なる険しい地形。奥地に点在する集落に配電線を引っ張るのは、そう簡単なことではない。「目の前が見えても、道も橋もない。いったん谷に下り、また山を登らなければたどり着けません。そんな場所に人力で電柱などを設置するのは一苦労。どうして

灯油ランプの明かりはかなり暗く、細かい作業などはできない



太陽光発電で部屋の中がこんなにも明るく。家族だんらの時間が増えた



ブータン
from **BHUTAN**

地方の人々に笑顔を運ぶ

世界一幸せな国として知られるブータン。しかしその裏側で、都市と地方の格差という課題に直面している。電力もその一つ。地方にも電力を届けるため、ブータンの人々の挑戦が続いている。